

「豊南小学校 学校だより」

(家庭数配布) 令和5年(2023年) 10月

4月に文科省による「学力・学習状況調査」を実施しました。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るとともに学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的としております。対象学年は6年となります。また、同時に大阪府では「すくすくウオッチ」というテストを5年生と6年生で実施しており、大阪府の子どもたちが9年間の義務教育のもと、みんなで子どもの育ちを見守るため、5年生では国語、算数、理科とわくわく問題とアンケート、6年生ではわくわく問題とアンケートを実施しました。「わくわく問題」は教科横断型の問題となっています。この2つのテストを通して、本校の教育目標とも照らし合わせ、本校の学力向上のための取り組みに活かしていきたいと考えております。調査結果と考察については、「全国学力・学習状況調査」に関しては6年生のみが対象であり、教科も国語、算数に限られています。「すくすくウオッチ」においても、5年生と6年生が対象でした。したがって、この調査により測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、学校教育活動の一側面であることをご了承ください。

国語について

(6年生)

- ・6年生の国語の結果について、本校の平均点は大阪府、全国より上回った結果となり、よくできていました。
- ・問題の回答に関して、記述で答える問題の回答に苦手な傾向がありましたが、内容を理解し適切なものを選択することがよくできていました。
- ・言葉の特徴や使い方に関する知識、文章全体の構成や表し方に着目して文や文章を整えたり、自分の考えをまとめること、物語の全体像を具体的に想像し登場人物の相互関係についての描写を捉えていくこともできていました。
- ・今後は自分の考えが伝わるように、文章をまとめる力をつけるとよいと思われます。

(5年生)

- ・情報の扱い方、言語文化に関する事項について課題がありましたが、言葉の特徴や使い方に関してはできていました。
- ・「話すこと、聞くこと」に関してはできていましたが、「書くこと」について課題があります。国語の文章から読み取り、自分の考え方を書いていくことや、文章をまとめていく力をつけていく必要があります。

算数について

(6年生)

- ・6年生の算数の結果について、本校の平均点は大阪府、全国平均を上回りよくできていました。
- ・特に記述式の回答では課題があり、問題の分析をして考え方を記述する問題、比例や割合、図形の考え方を記述する問題は正答率がやや低くなっていました。
- ・基本的な四則計算はよくできていますが、その式を求めるための考え方や理由の記述にやや課題がありました。
- ・表を読み取るデータ活用についてはよくできていました。

(5年生)

- ・基本的な計算の定着に向けて計算ミスをしないように反復練習する必要があります。また、測定値の変化と関係については考え方を記述することに課題がありました。
- ・データの活用についてはできていました。
- ・選択式の回答についてはよくできており、記述式の回答では数値のデータから情報を読み取り、自分の考えを書くことに課題がありました。

理科について

(6年生)

- ・「エネルギー」を柱とする問題、化学的な思考問題に課題がありました。「生物」「地球」に関する科学的な問題はよくできていました。今後、実験・観察などから実験に使った用具の理解とその使い方、実験や観察の仕方の理解とその考察を行い、科学・化学的な思考力を積み上げていきたいと考えます。

(5年生)

- ・6年生と同じように化学的な思考問題に少し課題がありますが、「生命」に関する科学的な問題はできていました。今後とも6年生と同様に実験・観察などから科学・化学的な思考力を積み上げていきたいと考えます。

わくわく問題について

(5・6年生)

- ・本校の6年生の正答率は大阪府の正答率を上回っています。
- ・6年生に関しては問題を読み取る力、自分で考えたことを伝える力をみとる問題がよくできており、図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付け、それをもとに論理的に考え、それをもとに、自分の考えをまとめ伝えることがとてもよくできていました。
- ・5年生に関しては、図や表、グラフ、短い文章から会話文章の内容を関連付けてそれをもとに理論的に考えることに特に課題があります。日常の学習活動においてよく読み取ることを重点にしていきたいと考えます。

アンケート結果より

(6年生)

- ・「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問に対して肯定的な回答が72.5%、また、「将来の夢や目標をもっていますか。」という質問では、肯定的な回答が78.8%(6年)でした。また、「話し合いをすると友だちの意見を最後まで聞いている。」(肯定的回答100%)「黒板に書かれたことをノートに写している。」(肯定的回答97%)「あなたの学級は日直や係の仕事を頑張っている。」(肯定的回答93.9%)「家の人に褒められたことがある。」(肯定的回答93%)「家の中にいるとホッとできる場所がある。」(肯定的回答100%)「先生はあなたのよいところをほめてくれる。」(肯定的回答86.7%)という質問に対してとても肯定的な回答が多かったという結果がでました。
- ・「いじめはどんなことがあっても許さない。」という質問に対して100%の児童が肯定的な評価をしていました。いじめをゆるさない集団に育っていると思われます。また、「自分が役立つ人間になりたい。」という見

童も87.9%、「学校に行くのが楽しい。」と答えた児童は78.8%、「友だち関係」については81.8%の児童が満足と答えていました。

・「今住んでいる地域の行事に参加している。」と答えた児童は51.5%で「地域をよくするために何かしてみたいことはありますか」と答えた児童は51.5%と半数の児童が自分の地域の事について考えていました。この結果をうけ、本校では、より自尊感情を高めていくために様々な活動に取り組むことが必要であると感じました。委員会活動やクラブ活動、異学年交流、運動会や学習発表会等で発表する機会を増やし、お互いにすばらしいところは評価し認め合える集団をつくっていきたいと考えました。また、地域に目を向けること、豊南校区をふるさととして大事に思う気持ちを育てていきたいと考えました。

(5年生)

・5年生で児童アンケートにおいて肯定的な回答が多い質問は、「黒板に書かれたことをノートに写している。」(肯定的回答99%)「先生や友だちが話していることで大事だと思ったことをノートに書いている。」(肯定的回答99%)「将来の夢や目標を持っている。」(肯定的回答96.7%)「先生はあなたのよいところをほめてくれる。」(肯定的回答100%)「家の中にホッとできる場所がある。」(肯定的回答100%)「自分の考えをノートに書いている。」(肯定的回答95.1%)「話し合いをする時最後まで友だちの意見を聞いている。」(肯定的回答95.1%)「自分には良い所があると思う。」(92.7%)「悲しんでいる人を見るとなぐさめたくなる。」(肯定的回答92.7%)「あなたは困った時相談できるともだちがいる。」(肯定的回答92.7%)となりました。

・5年生の良い所は、先生や友だちががはなしていることで大事だと思ったことをノートに書いていることや自分の考えを積極的に発信していること、学級会で少数意見も大事にしていること、話し合う場面で自分の考えを深めたり広げたりしていることがあげられます。一方で、自分に良いことがあっても気持ちや態度に出せてないことが課題となっています。5年生は上記の強みを生かして、今後の学校行事、学年の取り組み、学習活動を通して、自分の考えを発表する機会を増やし、自分に自信をつけていってほしいと考えています。

今後の課題について

・学習面では、文章の読み取りに重点を置き、自分の考えが表現できるように書く力、伝える力を付けていく必要があります。また、算数的な考え方、化学的・科学的思考力等、授業を通して育てていき、自分の考えに自信が持てるように力を付けていきたいと考えます。また、対話を通した授業の構築により、コミュニケーション力の向上と自分の気持ちの伝えられるような学習を各教科で実践する等、本校の研究を深めていくことにより実践していきたいと考えています。

・生活面では、生活習慣をより充実させ自己肯定感、自尊感情を育てるように褒めて伸ばしていく教育を継続して行っていきたいと考えています。